

2021.7.19

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動



↑6/7 城址から大門に渡る陸橋
から見た林の色の変化 7/19→

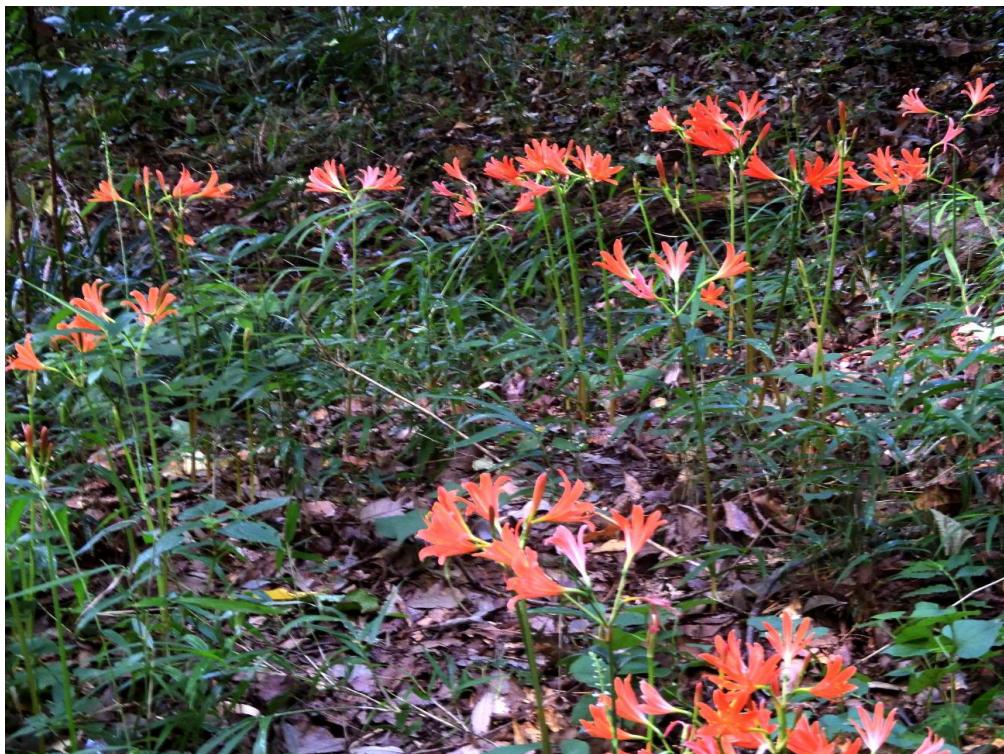


黒々とした 夏色の林

足早に秋の気配も漂って…

キツネノカミソリ ほんのひと時の華

6月の初めにはまだ葉を伸ばしたばかりだったので、林の縁は彩とりどりだったのですが、夏になればどれも黒々としてきて、林の中も暗くなります。



そこに灯かりをともしたように橙色の花を咲かせるのがキツネノカミソリ。これ、一日花なのです。あまりにもきれいなので、もう一度見たいと思って翌日に行ってみると、花はもう枯れて見当たらないことから、昔の人は狐に化かされたと思ったのかもしれません。それでこの名がついたという説あり。

夏の花いろいろ



↑ダイコンソウ



↑チヂミザサ



↑クサギ

もう実をつけ始めたウバユリ



ヌス
ビト
ハギ
→
←7/12

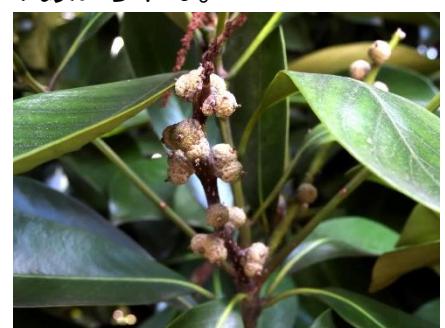


には満開だった大門地区のウバユリ、一週間後

後の7/19は早くも峠を越して、実をつけるものも出てきました。

どんぐりの赤ちゃん育つ

よく見られる、左からシラカシ、コナラ、マテバシイのあかちゃん。



↓大門のニリンソウ自生地では、上に紹介したクサギのそばでエゴノキも実を垂らしています。



その隣のウワミズザクラは赤い実をつけています。すぐに鳥に食べられてしまうのですが、今年はきれいに残っていました。

植物観察・記録活動（モニタリング）は
どなたも参加できます。
お問い合わせは都立赤塚公園サービスセンター
03-3938-5715 まで